

(重点施策1)地域包括ケアシステムの深化・推進【9事業】

《計画内容》

本市では、今後も高齢者の増加が見込まれている中、高齢者ができるだけ住みなれた地域で日常生活が送れるよう、日常生活圏域の中で医療、介護、介護予防、住まい、生活支援を包括的に行う地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、住民主体による介護予防活動の充実、住まいの確保、地域での見守りネットワークづくりをはじめ、地域包括支援センター・地域ケア会議の充実を図ります。

あわせて、看取りも含めた医療・介護ニーズの高まりに対応していくため、引き続き在宅医療・介護に係る体制の充実に取り組むとともに、地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保に向けた取り組みを進めます。

【具体的な取り組み内容】

重点施策	該当頁
地域介護予防活動支援事業の充実	P61
サービス付き高齢者向け住宅等の民営借家の活用	P69
地域との連携体制の確立・地域見守りネットワークづくり	P73
地域包括支援センターを中心とした地域課題への対応の推進	P74
地域ケア会議の充実・重層化	P75
在宅医療、介護・福祉サービスの体制づくり	P85
在宅医療・介護連携に関する相談体制の充実	P86
共生型サービスの導入促進	P89
介護人材の確保	P94

《実施状況》

重点施策	担当課	実施内容	自己評価	課題と対応策
地域介護予防活動支援事業の充実	ちゃーがんじゅう課	・介護予防リーダー養成講座(12人養成) ・ちゃーがんじゅう体操広めたい講座(6人養成) ・いきいき百歳体操リーダー養成講座(8人養成)	◎	・参加者が募集定員より下回っていたため、周知方法の工夫や募集の表現の工夫、実施場所・内容の検討をしていく。
		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、事業活動はほぼ自粛していた。アフターコロナにおいては、受入事業所の現状確認や、説明会交流会を開催することで、事業の活性化に努めた。	◎	コロナ禍における事業活動自粛により登録数が伸び悩んだ。周知広報や受入事業所の拡大について検討する。
サービス付き高齢者向け住宅の民営借家の活用				
①サービス付き高齢者向け住宅の普及と安定的な質の確保	まちなみ整備課	窓口及びホームページで制度内容及び登録情報の提供を行った。登録住宅の管理状況について、全事業者から定期報告を受け、内容を精査した。立入り検査を4件実施した。	○	新規の登録については停滞しているため、引き続き、普及啓発が必要である。

<p>②住宅確保要配慮者(高齢者)の入居を拒まない住宅登録の促進</p>	<p>まちなみ整備課</p>	<p>窓口、ホームページ等で住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅登録制度の普及啓発を行った。 住宅確保要配慮者専用住宅に登録する住戸の賃貸人に対して改修費の補助を行った。</p>	<p>○</p> <p>登録住宅及び専用住宅の件数は少しずつ増加しているが、住宅確保要配慮者に案内できる空物件は少ないため、引き続き、普及啓発及び補助事業の実施を行う。</p>
<p>③高齢者の居住安定に向けた支援</p>	<p>まちなみ整備課 ちゃーがんじゅう課</p>	<p>高齢者の居住安定に向けたしくみ・体制づくりを検討するため、庁内意見交換会を複数回開催し、庁内関係課や関係機関等の連携体制構築を行った。</p>	<p>○</p> <p>効果的なくみ・体制づくりを行うため、事例分析や外部の関係団体等に対するヒアリングを行いながら、引き続き、庁内意見交換会で情報共有し、検討を進める。</p>
<p>地域との連携体制の確立・地域見守りネットワークづくり</p>	<p>ちゃーがんじゅう課</p>	<p>関係機関と連携し高齢者を見守るためのネットワークを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できることを目的とした「那覇市見守りネットワーク事業」において、相談協力員が、地域包括支援センターより訪問の意図や関わり方等の指導を受け、地域における見守り活動として高齢者宅への訪問等を行った。相談協力員に対する活動のスキルアップを目指すため研修を実施した。</p>	<p>◎</p> <p>地域によって相談協力員の登録者数や活動状況に差があるため、相談協力員の活動について周知を行い、地域包括支援センターと一緒に地域の見守り活動を行う地域住民を増やし、より効果的な見守りネットワークの構築につなげていく。</p>
	<p>福祉政策課 社会福祉協議会</p>	<p>【福祉政策課】 自治会長を訪ねたり、地域の集まりや協働のまちづくりを目的とした集会等に参加して地域見守り隊の活動を紹介し、地域の実情に配慮した個別訪問活動に興味を持っていただき、「地域見守り隊」新規立ち上げにつなげる。 【社協】地域見守り隊とは、地域住民や自治会、民生委員児童委員などで結成されたメンバーが、地域の中で見守りの必要な方や様々な困り事を抱えた方々も地域で安心して暮らせるように、普段の生活の中で定期的に訪問等見守る活動です。 平成26年度から自治会を中心とした地域見守り隊の結成推進している。</p>	<p>◎</p> <p>【福祉政策課】 担い手不足の影響等で、新規結成数が伸び悩んでいる。引き続き通里会やサロンのような小規模コミュニティでの地域見守り隊の結成促進を図るための取り組みを検討する。 【社協】 これまでは自治会への地域見守り隊結成を推進してきたが、自治会加入率の低下や見守り隊員の高齢化も課題となっている。今後は通里会や商店のような小規模なコミュニティでの地域見守り隊の結成を図り、自治会の無い空白地域も検討しつつ企業等の新たな担い手の確保も合わせて取り組む。</p>
	<p>社会福祉協議会</p>	<p>かかりつけの病院・持病・お薬の内容・緊急連絡先を専用のキットの中に入れ冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時や災害時において、救急隊が搬送・処置をスムーズに遂行することができる。</p>	<p>◎</p> <p>消防局等関係機関と緊急医療情報キット配付者名簿の共有については、個人情報取り扱い等の課題があり、救急医療情報キットの申請窓口の設置数の増やすことや設置後の見守り体制も関係機関団体との協議が必要である。</p>
	<p>社会福祉協議会</p>	<p>見守り隊の目的は地域の困り事や個別支援のニーズキャッチをする事にあり、定期的な見守り訪問やその後の情報共有のための会議が重要となる。</p>	<p>◎</p> <p>地域によっては見守り隊の活動が支援者の高齢化や不足により見守り活動ができない地域もあり、活動のあり方や方法を検討しているところである。</p>
	<p>市民生活安全課</p>	<p>社協(見守り関係者、地域見守り隊)、民児協、地域包括支援センター定例会等へ参加し、情報共有、意見交換を行った。那覇市地域見守りネットワークへ加入した。</p>	<p>◎</p> <p>計画値を達成することができた。今後も、見守りを行うネットワークの協議会等へ参加し、情報共有、意見交換を行っていきたい。</p>

地域包括支援センターを中心とした地域課題への対応の推進	ちゃーがんじゅう課	日常生活圏域地域ケア会議回実施 テーマは「通いの場創設として花壇の活用」や「みてあるきマップ作成」など	△	圏域の課題解決に向けて取り組んでおり、引き続き取り組みを行う。
地域ケア会議の充実・重層化	ちゃーがんじゅう課	個別事例検討会議：224回	◎	引き続き、個別ケースの地域ケア会議実施に努めます。
	ちゃーがんじゅう課	ケアマネジメント支援会議 22回 40件	△	ICTを活用して実施するなど工夫しているが、共通する個別課題から地域ケア会議へつなげていく対応を図る。
	ちゃーがんじゅう課	日常生活圏域地域ケア会議 33回実施	△	ICTが利用できない参加者が多く、ICT会議開催が難しい。地域課題の解決に向け意識の統一を図る。
	ちゃーがんじゅう課	庁内推進会議 0回 那覇市地域包括ケアシステム推進会議 2回 那覇市地域包括ケアシステム推進会議 幹事会2回 第9次なは高齢者プランの策定に向けた会議を実施	◎	住まいの課題について、まちなみ整備課等と情報共有してきたが、今後も連携を継続し協議していく必要がある。
在宅医療、介護・福祉サービスの体制づくり	ちゃーがんじゅう課	在宅医療・介護連携資源マップのシステムを県統一マップへのバージョンアップへ調整し、市町村を超えた連携強化を図った。在宅医療介護連携支援ネットワーク協議会を3回開催し、課題の抽出と対策の協議を行った。	◎	在宅医療介護連携支援ネットワーク協議会等で引き続き課題の抽出を行い、連携の充実のためのシステムづくりの取組を図ります。
在宅医療・介護連携に関する相談体制の充実	ちゃーがんじゅう課	地域包括支援センター、訪問看護ステーション、医療機関等との意見交換会の実施。市民、医療・介護関係機関、地域包括支援センター等からの相談件数 5,708件 在宅医療・介護及び看取りについても、地域での講座を開催し、周知啓発を行った。	◎	在宅で利用できる医療、介護、福祉サービスを利用者の状態に合わせて選択できるように、情報提供や相談体制の充実に努めます。
共生型サービスの導入促進	ちゃーがんじゅう課 障がい福祉課	【ちゃーがんじゅう課】 希望する事業所がないため増設なし。 【障がい福祉課】 厚生労働省の資料等を障がい福祉課のホームページに掲載してメール等にて共生型サービスの周知を図った。障がい分野においては、R5年度の共生型事業所の新規指定が3件あった(生活介護、居宅介護、重度訪問介護)。	◎	【ちゃーがんじゅう課】 当課ホームページ掲載などにより周知を行う。

介護人材の確保	ちゃーがんじゅう課 商工農水課	【ちゃーがんじゅう課】 実施できていない 【商工農水課】 介護職に特化したセミナーの実施	○ 【ちゃーがんじゅう課】 地域医療介護総合確保基金の対象事業として、「介護従事者の確保に関する事業」があるため、対応に向ける。ハローワークと連携し、就職説明会の開催を検討する。 【商工農水課】 福祉(介護)に特化したセミナーを12月～3月にかけて毎月開催することができた。今後も継続して、介護職の人材確保につながるような取り組みを関係機関と連携しながら実施していく。
---------	--------------------	---	--

※自己評価基準

数値目標達成基準【◎:80%以上、○:79~60%、△:59~30%、×:29%以下】

数値目標以外達成基準【◎:達成、○:概ね達成、△:不十分、×:未達成(未実施)】

《総括》

重点施策1「地域包括ケアシステムの深化・推進」の9事業のうち、「地域介護予防活動支援事業の充実」「地域との連携体制の確立・地域見守りネットワークづくり」「在宅医療、介護・福祉サービスの体制づくり」「在宅医療・介護連携に関する相談体制の充実」は昨年に引き続き順調に取組が進んでいます。また、昨年度は取組の進捗が鈍かった2事業中、「共生型サービスの導入促進」ではHPやメールの活用で周知を図り、3件の新規指定がありました。「介護人材の確保」も介護職特化セミナーを4カ月連続で開催するなど意欲的に活動しました。

(重点施策2)介護予防・重度化防止の推進【8事業】

＜計画内容＞

本市は、認定者に占める要介護3以上の重度者の割合が高い傾向にあります。要介護状態の原因となる生活習慣病患者が多いことから、若年期からの生活習慣病予防や、介護予防及び重度化防止に引き続き取り組む必要があります。そのため、若年期からの健康づくり支援として特定健診・保健指導の充実強化に取り組むとともに、すべての高齢者を対象とした住民主体による介護予防活動や生活支援等の推進を図り、あわせて要介護(要支援)認定者に対して重度化防止につながる適切なサービスが提供されるよう、ケアプラン点検等の取り組みを進めます。

【具体的な取り組み内容】

重点施策	該当頁
特定健診・保健指導等の充実強化	P57
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	P60
介護予防普及啓発事業の充実	P61
地域介護予防活動支援事業の充実(※)	P61
地域リハビリテーション活動支援事業の充実	P62
生活支援コーディネーター・協議体の活動等の充実	P64
ケースに応じた介護予防ケアマネジメントの実施	P64
多職種連携によるケアプラン点検の実施	P96

(※)「(1)地域包括ケアシステムの深化・推進」の重点施策にも位置づけ

＜実施状況＞

重点施策	担当課	実施内容	自己評価	課題と対応策
特定健診・保健指導等の充実強化	健康増進課	国保加入の40～74歳を対象とした特定健診を実施 ⇒令和5年度速報値(令和6年2月末時点) 受診者: 10,995人(対象者49,202人)、受診率22.3% ・市内各医療機関における健診の実施 ・市主催の集団・まちかど健診の実施(19回/年) ・自治会主催の健診の実施(1回/年)	△	【課題】 新型コロナウイルス感染症の影響は減少傾向にあるが、まだ元の生活スタイルには完全に戻ってきてはならず、受診控えの傾向は続いており、それが受診率低下の要因となった。 【対応策】 受診控えによる生活習慣病の進行の危険性及び特定健診の重要性の周知に重点を置き、受診歴に応じた勧奨手法を再検討する。
		特定健診の結果から、生活習慣の改善が必要な方、要医療者及び治療中で生活習慣病コントロール不良者等に対し、生活習慣病予防及び重症化予防を目的に、以下の取り組みで特定保健指導等を実施。 ・自宅での保健指導 ・窓口や電話での保健指導 ・結果説明会での保健指導(R5 131回) ・医療機関等による特定保健指導 ・医療(かかりつけ医・専門医)連携 等 令和6年3月現在、特定保健指導初回面接率が51.9%、終了率は21.5%となっている。(R5年度の最終的な実施率は10月ごろに確定)	△	【課題】 ・第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)・第4期特定健康診査等実施計画の策定において、生活習慣病重症化疾患(脳血管疾患・虚血性心疾患・腎不全)に起因する高血圧の課題があり、特に、65歳以上の高血圧や糖尿病等の増加がみられた。 【対応策】 ・保健指導において、特に、メタボリックシンドローム該当者・高血圧の未治療・治療中断の対象者へは、受診の必要性を伝えた受診勧奨や継続した治療の重要性を伝える。

<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施</p>	<p>健康増進課 ちゃーがんじゅう課 国民健康保険課</p>	<p>【健康増進課】 [個別支援] 低栄養:実47人・延208人 糖尿病性腎症重症化予防:実66人・延294人 生活習慣病重症化予防:実122人・延430人 健康状態不明者:実19人・延40人 [健康講話] 集いの場:45箇所 参加人数:414人</p> <p>【ちゃーがんじゅう課】 令和5年度は、地域包括支援センターと連携して、泊、安里、繁多川、国場、高良、かなぐすく、城西、若狭、安謝、識名、小祿、石嶺、大名の13圏域と連携を図り、地域の通いの場等において、健康教育を実施した。</p>	<p>◎</p> <p>【健康増進課】 令和5年度まで、現場担当の高齢者一体的保健指導専門員が、ちゃーがんじゅう課2名、健康増進課2名と分けて配置していたことから、業務の進捗管理・事務煩雑化・情報収集の差等が課題が生じてた。 →令和6年度より、企画調整担当が配置されている健康増進課に4名を集約し配置。業務の効率化・保健指導の質の平準化を図る。</p> <p>【ちゃーがんじゅう課】 R6年度全18包括と連携して取り組めるよう、連携する地域包括支援センターの拡大に努める。</p>
<p>介護予防普及啓発事業の充実</p>	<p>ちゃーがんじゅう課</p>	<p>地域包括支援センター等において、介護予防教室等を実施し、介護予防に資する基本的な知識の普及を図った。</p>	<p>◎</p> <p>計画値を大きく上回る実績値となった。今後とも介護予防の普及啓発を図り、参加者の増加に努める。</p>
<p>地域介護予防活動支援事業の充実</p>	<p>ちゃーがんじゅう課</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も感染対策には留意し、事業継続を行った。</p>	<p>◎</p> <p>介護予防の普及啓発し、参加者の増加を図る。</p>
<p>地域介護予防活動支援事業の充実</p>	<p>ちゃーがんじゅう課</p>	<p>・介護予防リーダー養成講座(12人養成) ・ちゃーがんじゅう体操広めたい講座(6人養成) ・いきいき百歳体操リーダー養成講座(8人養成)</p>	<p>◎</p> <p>・参加者が募集定員より下回っていたため、周知方法の工夫や募集の表現の工夫、実施場所・内容の検討をしていく。</p>
<p>地域リハビリテーション活動支援事業の充実</p>	<p>ちゃーがんじゅう課</p>	<p>新型コロナ感染症の感染拡大防止対策により、事業活動はほぼ自粛していた。アフターコロナにおいては、受入事業所の現状確認や、説明会交流会を開催することで、事業の活性化に努めた。</p>	<p>◎</p> <p>コロナ禍における事業活動自粛により登録数が伸び悩んだ。周知広報や受入事業所の拡大について検討する。</p>
<p>生活支援コーディネーター・協議体の活動等の充実</p>	<p>ちゃーがんじゅう課</p>	<p>・地域住民への介護予防に関する実践的リーダーとなる者を対象に、地域のサークル14箇所に理学療法士または運動指導士を派遣 ・介護事業所等介護予防に取り組む従事者等を対象に、2回スキルアップ講座を実施</p>	<p>○</p> <p>・通年で活動しているサークルに対して、必要とされた時点での派遣が効果的かつ短期的な調整は講師や介護予防リーダーの負担となるため、4月から実施できるよう早めの時期から周知活動、募集をし通年でできるよう調整していく。</p> <p>○</p> <p>地域住民・社会福祉法人・企業などと連携し、高齢者の移動手段の仕組みづくり及び課題解決(資金、担い手)のための協議を実施。目的を踏まえて業務内容を調整し、必要な開催数を実施した。</p>

		<p>・第2層協議体の開催:19回 圏域内の高齢者に係る現状を把握、課題を共有し、「見守り体制の仕組みづくり」「介護予防サークル」等の創設に取り組んだ。</p>	○	<p>生活支援コーディネーター同士の情報や課題の共有を促進し、協議体の場へと繋げられるよう努める。</p>
<p>ケースに応じた介護予防ケアマネジメントの実施</p>	<p>ちゃーがんじゅう課</p>	<p>要支援認定を受けた者・基本チェックリスト該当者に対して、ケースに応じた自立に資する介護予防ケアマネジメントの実施。</p>	◎	<p>引き続きケースに応じた介護予防ケアマネジメントを実施する。</p>
<p>多職種連携によるケアプラン点検の実施</p>	<p>ちゃーがんじゅう課</p>	<p>研究会に招聘する専門職に薬剤師の職種を新たに追加し、理学療法士、作業療法士、主任介護支援専門員、管理栄養士を講師として毎月2回開催した。オンライン形式による開催に加え、集合形式も選択できるよう事業者の要望に沿って実施した。</p>	◎	<p>年度12回、24事業者を対象に研究会開催するも、事業者自ら応募は2事業者のみで他は市が参加打診した事例研究となった。事例提供の負担が大きいと意見もあり、事業者が容易に多職種専門職と相談できる研究会に見直しが求められている。</p>

※自己評価基準

数値目標達成基準【◎:80%以上、○:79~60%、△:59~30%、×:29%以下】

数値目標以外達成基準【◎:達成、○:概ね達成、△:不十分、×:未達成(未実施)】

《総括》

重点施策2「介護予防・重度化防止の推進」の8事業のうち、「高齢者の保険事業と介護予防の一体的な実施」「介護予防普及啓発事業の充実」「地域介護予防活動支援の充実」「ケースに応じた介護予防ケアマネジメントの実施」の4事業の取組は順調に進んでいます。「特定健診・保健指導等の充実強化」では、コロナ禍の影響は減少しつつも、まだ受診控えが続いているものと見受けられ、受診率改善に至りませんでした。次年度以降は特定健診の重要性の周知に重点を置き改善に努めていきます。

(重点施策3) 認知症の方やその家族を支える取り組みの推進【9事業】

＜計画内容＞

本市は、高齢化の進行とともに認知症高齢者の増加が見込まれています。認知症状への対応について不安を感じる介護者も多いことから、認知症の方とその家族が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、引き続き認知症の方とその家族を支える総合的な取り組みを進めていく必要があります。

そのため、認知症初期集中支援チームによる早期からの支援をはじめ、認知症の方や家族に対する居場所づくりや支援、地域で支える認知症サポーターの養成・育成と活動促進に取り組みます。また、認知症高齢者の虐待防止及び権利擁護のための取り組みや認知症に特化した介護保険サービスを推進していきます。

【具体的な取り組み内容】

重点施策	該当頁
認知症初期集中支援チームによる活動支援の推進	P78
認知症による道迷い等の早期発見体制整備	P78
認知症の方や家族の居場所づくりの支援	P79
認知症の方の介護者への支援	P79
認知症サポーターの養成・育成と活動促進	P80
高齢者虐待防止ネットワークの強化等、虐待防止対策の充実	P81
虐待や困難事例への適切な対応及び緊急一時保護の実施	P81
認知症対応型通所介護	P91
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	P92

＜実施状況＞

重点施策	担当課	実施内容	自己評価	課題と対応策
認知症初期集中支援チームによる活動支援の推進	ちゃーがんじゅう課	・包括支援センターへのチームの活用や対象者等の周知不足が課題としてあった、周知を増やしたことで、対応件数は6件と前年よりも増加した。	◎	・引き続き、チーム活用が適宜行われるよう包括職員へ活動報告等周知の機会を設ける
認知症による道迷い等の早期発見体制整備	ちゃーがんじゅう課	SOSリング登録者(R6.3.31時点)累積837名	◎	SOSリング等の装着促進へ向け周知啓発の強化を検討。適宜、リング装着が早期発見に寄与しているかなど評価していく。
認知症の方や家族の居場所づくりの支援	ちゃーがんじゅう課	認知症カフェ25所実施。新規5か所立ち上げとなった。	◎	当事者や家族の参加も増やせる取り組みができるよう検討していく
認知症の方の介護者への支援	ちゃーがんじゅう課	15包括で教室実施し計28回開催。	◎	今後も市全体で教室が実施へ向け取り組みを進める。
認知症サポーターの養成・育成と活動促進	ちゃーがんじゅう課	1000人以上が受講し、認知症サポーター養成数(累積)は27000人を超え計画値の目標達成した。	◎	今後も幅広い層へ認知症サポーター養成講座が開催できるよう周知啓発の取り組みをさらに進めていく。

高齢者虐待防止対応ネットワークの強化等、虐待防止対策の充実	ちゃーがん じゅう課	高齢者虐待の防止や早期対応が図られるよう、関係機関等との連携協力体制を整備することを目的とした「那覇市高齢者虐待防止対応ネットワーク会議」を1回開催した。 各地域包括支援センター(18か所)においては、市民へ虐待についての正しい理解や周知啓発を図るための講話等を実施している。	◎	高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保ちながら生活していけるようにするためにも、引き続き関係機関等との連携強化に努めていく。
虐待や困難事例への適切な対応及び緊急一時保護の実施	ちゃーがん じゅう課	「那覇市高齢者虐待防止対応ネットワーク会議」の開催により関係機関との連携を強化するとともに、個別事例に関しては虐待の対応窓口である地域包括支援センターと共有を図りながら被虐待高齢者の支援を行うことができた。	◎	支援が長期化しないよう、関係機関とより強固なネットワークの構築を図っていくとともに、複雑・多様化する事案に対して適切な対応ができるよう研修受講等により職員の質の向上及びバーンアウト対策等を行っていく。
認知症対応型通所介護	ちゃーがん じゅう課	新規指定0	×	周知を行い、利用促進を図る。
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	ちゃーがん じゅう課	新規指定0	×	周知を行い、利用促進を図る。

※自己評価基準

数値目標達成基準【◎:80%以上、○:79~60%、△:59~30%、×:29%以下】

数値目標以外達成基準【◎:達成、○:概ね達成、△:不十分、×:未達成(未実施)】

《総括》

重点施策3「認知症の方やその家族を支える取り組みの推進」は9事業のうち、7事業の取組が順調に進んでおり、引き続き関係機関との連携強化を図りながら進めていくことが求められます。認知症初期集中支援チームによる活動支援については、対象が対応困難事例であることが多く、時間を費やす支援ではあるものの、昨年度の4件より2件増やして6件としています。また、「認知症対応型通所介護」及び「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」については応募がなかったことから、今後は同施設の周知を検討課題として挙げています。

(重点施策4)適正な運営による介護保険事業の推進【5事業】

＜計画内容＞

本市では、受給者一人あたりの給付月額が高い傾向にあります。介護給付の適正化を図ることは、介護給付費や介護保険料の増大を抑制するとともに、持続可能な介護保険制度に資することに加え、利用者の要介護状態に合わせ適切な介護サービスを提供することにつながります。

そのため、引き続き介護保険事業の適正な運営に係る取り組みとして、介護保険サービス事業所への指導・監査等や、レセプト点検の実施等による適正利用の促進を図ります。

【具体的な取り組み内容】

重点施策	該当頁
事業所との連携	P89
サービスの質の向上に向けた事業所の取り組み支援	P94
説明会等による情報提供・周知	P95
事業所への指導・監査等	P96
適正利用の促進	P96

＜実施状況＞

重点施策	担当課	実施内容	自己評価	課題と対応策
事業所との連携	ちゃーがんじゅう課	・運営推進会議への参加による意見交換 ・補助金等に関する国や那覇市からの通知、情報共有 ・認知症に関する研修等の周知、参加の促し	◎	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、運営推進会議への直接参加が出来ていない事業所について、オンライン会議での開催等を薦める。
サービスの質の向上に向けた事業所の取り組み支援	ちゃーがんじゅう課	・集団指導、実地指導等において研修の必要性を周知 ・有料老人ホームについては、動画による集団指導を実施し、有料老人ホームの介護従事者がいつでも閲覧できるようにした。 ・介護相談員派遣事業の実施団体との調整を行ったが実施に至らなかった	○	介護事業所、有料老人ホーム向け集団指導開催し研修を実施。 介護相談員派遣事業については、実施団体との調整を随時おこなっていく。
説明会等による情報提供・周知	ちゃーがんじゅう課	市のホームページにて、「高齢者保健福祉サービスと介護保険制度について」の出前講座を周知しており、市民からの要望に対し出前講座を開催する。	○	首里地区の民生委員に対し出前講座を行った(1件)。今後も講座開催を続けていく。
事業所への指導・監査等	ちゃーがんじゅう課	91事業所 (うち給付G 2事業所)	◎	事業所の状況も考慮し、オンライン実施も活用して行う。
	ちゃーがんじゅう課	介護保険サービス事業所集団指導 1回	◎	事業所への制度説明や周知の機会を確保する。
適正利用の促進	ちゃーがんじゅう課	医療突合・縦覧点検を実施したレセプト44,553件のうち、疑義があり国保連提供データの確認及び事業所へ問い合わせし、過誤返還に至ったレセプト件数は97件あり、適正化率は99.78%であった。	◎	医療突合・縦覧点検において疑義があるレセプトが1,936件あり、介護認定情報や国保連合会の適正化情報等を活用し、事業所への電話照会する件数を減らすことで効率的な点検業務を行う。

※自己評価基準

数値目標達成基準【◎:80%以上、○:79~60%、△:59~30%、×:29%以下】

数値目標以外達成基準【◎:達成、○:概ね達成、△:不十分、×:未達成(未実施)】

《総括》

重点施策4「適正な運営による介護保険事業の推進」の5事業のうち、「事業所との連携」「事業所への指導・監査等」「適正利用の促進」は順調に取組が進んでいます。事業所との意見交換を行う運営推進会議に関してはコロナ禍の影響により直接実施ができない場合はオンラインで開催する等、取組の推進に向け臨機応変に対応を検討していきます。また、事業者への指導・監査、適正利用の促進も含め、制度説明や周知の機会の確保等引き続き事業所を支援する取組を展開します。「説明会等による情報提供・周知」の「高齢者保健福祉サービスと介護保険制度について」の出前講座の活動については、昨年度はコロナ禍の影響で開催依頼がありませんでしたが、今年度は1件開催することができました。